

# 2014年度第1回 コールドスプレー研究会報告\*

2014年8月5日(東京)

小川 和洋\*

Report of the 1st Cold Spray Research  
meeting in 2014 \*  
2014.8.5 (Tokyo)

Kazuhiro OGAWA \*

## 1. はじめに

2013年12月9日(月)～10日(火)に仙台で開催した後、だいぶ時間が経ってしまったが、2014年度の第1回CS研究会を東北大学東京分室(〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10階)で開催した。今回は、アクセス面を考え、東京での開催とした。当日は、産業界、大学等から約30名の参加があり、CS研究会を今後どのように進めていくべきかに関する議論、勉強会として2件の講演をお願いした。

## 2. 研究会内容

当日のタイムスケジュールを以下に示す。

13:00 開会

13:00-14:30 CS研究会

アンケート集計結果、研究会としての今後の進め方等

14:45-15:45 CS勉強会1

「金属薄膜を用いた室温接合技術(原子拡散接合法)の現状と課題」

東北大学 学際科学フロンティア研究所  
教授 島津 武仁氏

15:45-16:45 CS勉強会2

「パルス放電を利用した表面処理技術」

三菱電機株式会社 名古屋製作所  
驚見 信行氏

16:45 閉会

17:00～19:00 懇親会

前半では研究会として、前回のアンケート結果を基に今後

研究会の進め方を議論した。皮膜強度の標準試験方法や非破壊検査等を実施してはとの意見が出されたが、もう一度アンケートを取り、再度詳細を議論することとした。

後半は勉強会として、2件の講演をお願いした。今回の講演は、直接CS法に関するものではないが、1件目の島津先生(東北大学)からは金属表面を活性化させることで室温で接合させることが可能な原子拡散接合に関し、ご講演頂いた。2件目は驚見氏(三菱電機)からパルス放電を用いた表面処理技術ならびに接合技術に関し、ご講演頂いた。両講演ともCS法による成膜に対しヒントとなる内容である、活発な質疑応答があった(図1参照)。

夜には、参加者有志により、東京駅近郊で懇親会も開催され、有意義な意見交換が行われていた。



図1 勉強会の様子

## 3. まとめ

前回から、8ヶ月ほど間があいてしまったが、多くの方に参加して頂き、有意義な意見交換ができたと思う。次回はあまり間を開けず、開催したいと考えているので、これまでコールドスプレーに携わっていない方であっても興味があれば、是非参加頂ければと考えている。

\*原稿受付 2014年9月26日

\*東北大学(〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-11)

\*Tohoku University (6-6-11, Aoba, Aramaki, Aoba-ku, Sendai, 980-8579, Japan)